

日本社会福祉学会第50回記念全国大会を終えて

第50回記念全国大会事務局長 阿 部 實

日本社会福祉学会第50回記念全国大会を、日本社会福祉学会本部及び関係団体のご支援とご協力を得て、去る2002年10月26日(土)～27日(日)に、日本社会事業大学及び国立看護大学校を会場として開催することができました。また、東京都、清瀬市、東京都社会福祉協議会、清瀬市社会福祉協議会、日社大をかこむ地域福祉連絡会のご後援を頂きました。第50回記念全国大会であるということで、本学ならではの特別企画があったこともあり、これまでの学会史上最高の1,800人を超える参加者がありました。本学法人招待者並びに大会を支えた教職員・学生ボランティアを含めると約2,100人の規模での開催でした。

記念大会ということで特別講演・シンポジウムのほか多くのプログラムがあったにもかかわらず、教職員・学生ボランティアのご尽力により、成功裡に終えることができました。

「すごく社大らしく、きめ細かい配慮が細部に行き届いていますね。」等感謝のメールが大会事務局に寄せられ、大会終了後も大好評をいただきました。大会事務局より皆様への心からの感謝の気持ちとともに、以下、大会のご報告をさせていただきます。

今回の記念大会は、わが国の社会福祉が世紀転換期以降、制度改革が加速的に進行し大きな変革の時代を迎えているという時代認識から、社会福祉学の将来像を明らかにし、社会福祉学の飛躍的な発展を図ることを最大の目的として開催しました。

「21世紀社会福祉学の将来像」という大会テーマのもとに、大会記念講演、大会記念シンポジウム、学会企画シンポジウム、国際フォーラム、その他個人の自由研究発表や自主企画シンポジウムなど、内容豊かな大会プログラムでした。

- ① 大会記念講演は、「日本人の心」というテーマで、梅原猛（ものづくり大学総長）先生にご講演をいただきました。なお、梅原猛先生には、記念講演終了後に本学第一号の「名誉博士」の称号が授与されました。
- ② 「大会記念シンポジウム」は、「福祉の世紀、女性の時代」というテーマで、司会：長尾立子（日本社会事業大学理事長・全国社会福祉協議会会長）、シンポジスト：女性3知事。太田房江（大阪府知事）・潮谷義子（熊本県知事・本学学部2期卒業）・堂本暁子（千葉県知事・ビデオによる出演）とい

う豪華メンバーによるシンポジウムでした。

- ③ 「学会企画シンポジウムⅠ」は、「社会保障制度改革と社会福祉の将来像」というテーマで、司会：京極 高宣（日本社会事業大学学長）、シンポジスト：阿藤誠（国立社会保障・人口問題研究所長）・大森彌（千葉大学教授）・樋口恵子（東京家政大学教授）・河幹夫（前厚生労働省参事官・社会保障担当、現内閣府大臣官房審議官・国民生活局担当）、コーディネーター：阿部實（日本社会事業大学）で開催されました。
- ④ 「学会企画シンポジウムⅡ」は、「ソーシャルワークとケアワークの協働の方向性」というテーマで、司会：福山和女（ルーテル学院大学）、シンポジスト：西原雄次郎（ルーテル学院大学）・野川とも江（埼玉県立大学）・浅野正嗣（医療法人豊田会刈谷総合病院）、コメンテーター：山崎美貴子（明治学院大学）コーディネーター：福山和女（ルーテル学院大学）で開催されました。
- ⑤ 「国際フォーラムⅠ」は、「アジアのドラマ ―高齢者の健康・生きがい・長寿とQOL」というテーマで、パネリスト：段成榮（中国・中国人民大学人口研究所副所長・副教授）・陳功（中国・北京大学人口研究所研究員）・安弼濬（韓国・大韓民国老人会副会長・元保健福祉部長官）・金英淑（韓国・三育大学助教授）・兼子久（日本・全国老人クラブ連合会事務局長）、コメンテーター：台恩普（中国・中国老齡科学研究センター主任）、コーディネーター：千葉 和夫（日本社会事業大学）で開催されました。
- ⑥ 「国際フォーラムⅡ」は、「高齢者介護システムとケアマネジメント・ケアの質の向上を求めて」というテーマで、パネリスト：U・ローマン（ドイツ・アリスザロモン大学教授、社会保障法）・C・ツイッペル（ドイツ・アリスザロモン大学教授、リハビリテーション）・矢部久美子（在英研究者）・渡辺裕美（日本・日本社会事業大学助教授）・コメンテーター：北波孝（厚生労働省老健局）コーディネーター：村川浩一（日本社会事業大学）で開催されました。
- ⑦ 「日本社会福祉学会・韓国社会福祉学会 学術交流シンポジウム」は、「日・韓の社会福祉学の現状

と課題「共同研究への模索」というテーマで、シンポジスト：D r. Choi Sung Jae (ソウル国立大学社会福祉学科教授) (韓国社会福祉学会会長)・D r. L ee Young Bun (建国大学社会福祉学科教授) (韓国社会福祉学会副会長)・井岡勉 (同志社大学文学部教授) (日本社会福祉学会研究担当理事)・k ee - Bok Eom (東洋大学大学院) (在日社会福祉学専攻留学生会会長)、コーディネーター：黒木保博 (同志社大学) で開催されました。

①・②・③・⑤・⑥の企画は、本学法人への企業・助成団体からご支援いただいた寄付金によって実現することができました。ご支援いただいた関係企業や助成団体の皆様に、大会事務局としても感謝申し上げます。

学会員による自由研究発表は319、ポスター発表は

47、自主企画シンポジウムは14といずれも、学会史上最高の発表数でした。

また、厚生棟で行われた懇親会には約300人の方々に御参加いただき、多分野の方々が交流を深めることが出来ました。会場では、秩父太鼓・ダンスサークル・マンドリンサークルによるパフォーマンスもあり、大盛況のうちに終えることができました。

また本学独自企画として「社大50年の歩み」のパネルによる特別展示を図書館1階で開催しました。これは、今も図書館に展示されていますが、大会開催両日で総数362名の入館者がありました。

記念講演、記念シンポジウム並びに学会企画シンポジウムをはじめとして、各プログラムとも大会テーマにふさわしい内容が豊かで示唆にとむもので、第50回記念全国大会にふさわしいものとなりました。

2002年度総会議案書

2002年10月27日 日本社会事業大学

第1号議案

日本社会福祉学会 2001年度事業報告

(2001年4月～2002年3月)

I. 日本社会福祉学会第49回全国大会・年次総会の開催および第50回全国大会開催の準備をおこなった。

(1) 日本社会福祉学会49回大会

開催日 2001年10月20日(土)、21日(日)

・会場 沖縄コンベンションセンター、沖縄国際大学

・大会事務局 沖縄国際大学を中心に沖縄県在住の学会員

・大会テーマ 「アジアの社会福祉と日本」

・参加者 約1,100人

(2) 年次総会の開催

・開催日 2001年10月21日(日)

・会場 沖縄国際大学

・内容 ①日本社会福祉学会規約等改正

・日本社会福祉学会規約／日本社会福祉学会名誉会員制度規則／日本社会福祉学会理事及び監事選出規則／日本社会福祉学会理事会運営内規／日本社会福祉学会事務局運営内規／編集委員会規程／機関誌編集規程

②2000年度事業報告および監査報告

③2001年度補正予算

④2001年度事業計画および予算

⑤理事および監事選挙結果

⑥新理事および監事の承認

第7号議案

一番ヶ瀬康子、柏木昭、小松源助会員が名誉会員に

日本社会事業大学で2002年10月27日に行われた日本社会福祉学会2002年度総会において、一番ヶ瀬康子、柏木昭、小松源助の3会員が理事会から名誉会員に推挙され、満場一致で名誉会員に選ばれました。

一番ヶ瀬康子会員は学会理事を通算11期担当され、会長を4期お務めいただき、日本学術会議会員(3期)として社会福祉学の発展にご貢献をいただきました。通算11期の理事としての役員歴のなかで、会長職も長く、文字通り日本社会福祉学会の運営をご指導いただきました。現在、長崎純心大学教授として九州地区で最初の福祉系大学院博士後期課程において研究指導の中心的役割をになってお



られます。

柏木昭会員は学会理事を通算5期お務めいただきました。精神保健福祉学の学問的形成と発展に貢献され、新たな学問領域の構築に重要な役割をはたされました。淑徳大学で研究指導にあたられ、現在は聖学院大学教授としてご活躍をされています。

小松源助会員は通算して理事を2期、監事3期お務めいただきました。日本社会事業大学で長く教鞭をとられ、ソーシャルワーク研究の発展にご尽力されました。総会当日はご出席の予定でしたが、急病のためご欠席されました。ご回復と今後のご活躍を祈念します。

三人の名誉会員は本学会の運営と社会福祉学研究に多大なご貢献をなされ、第50回記念全国大会において名誉会員になっていただきました。今後のご活躍を祈念し、学会や会員へのご指導を引き続きお願いいたしましてご紹介に代えます。



⑦名誉会員の推薦（阿部志郎会員、小倉襄二会員、佐藤進会員）

(3) 日本社会福祉学会第50回全国大会（開催校日本社会事業大学）の開催準備をおこなった。

II. 理事会・運営委員会の開催

1. 理事会を5回開催し、会務の審議および436名の会員の入会を承認した。
（日程…2001年7月14日、10月19日・20日・21日、2002年3月17日）
2. 運営委員会を4回、四役会議を1回開催した。
（日程…運営委員会 2001年7月11日、9月3日、9月11日、2002年1月27日
四役会議 2001年12月25日）

III. 理事及び監事選挙の実施

選挙管理委員会を4月23日、7月22日に開催し、「第20期理事および監事の選挙」を実施した。開票作業は7月22日におこなった。

冊子の会員名簿（選挙人名簿）やCDROMの会員名簿の作成、投票用紙の作成および送付をおこなった。

IV. 機関誌の発行

1. 機関誌『社会福祉学』42巻－1号（「論文」12、「調査報告」1、および「地方部会報告」）を2001年8月に発行した。
2. 機関誌『社会福祉学』42巻－2号（「論文」14、「実践報告」1、「調査報告」3）を2002年3月に発行した。
3. 機関誌『社会福祉学』への投稿論文の査読の依頼および掲載の決定のために、編集委員会を4回（2001年8月6日、9月12日、2002年2月9日、3月31日）、査読委員も含めた拡大編集委員会を大会期間中に1回（2001年10月20日）開催した。
4. 機関誌『社会福祉学』の体裁をB5版サイズに変更し、表紙をカラーとした。また、掲載論文の種類を、論文、調査研究報告、資料解題、実践研究報告に分類した。
5. 掲載論文の英文抄録の校閲を依頼した。

V. 地方部会活動に対する財政的支援

地方部会活動に対して財政的支援をおこなった。

VI. 日本学術会議への協力

日本学術会議社会福祉・社会保障研究連絡委員会（「福祉研連」と略）が中心となって呼びかけた「ソーシャルケアサービス従事者養成・研修研究協議会」が2000年5月に発足し、本学会は登録学・協会の世話学会としてその活動の推進に協力した。

また、「福祉研連」が推薦する科学研究費の審査委員候補と審査の考え方についても本学会に設置されている「社会福祉学研究助成振興委員会」が中心となって作業を行った。

さらには、「福祉研連」が主催する日本学術会議・地方学術集会が広島で開催される（2001年7月）にあたって、本学会中・四国部会が協力した。

VII. 委員会事業の実施

1. ホームページ委員会

ホームページ委員会によりホームページを開設した（1998年5月）。当面の提供情報は、「年次大会」、機関誌『社会福祉学』の「目次」「学会ニュース」「学会入会申込書」とした。また、会員相互の交流の場として「業績登録「掲示板」」を設けた。

2. 21世紀の日本社会福祉学会の組織・運営のあり方委員会（2001年6月27日）

21世紀、本学会への社会的期待に応えるため、そのあり方を検討する委員会として、会長の諮問委員の位置付けで2000年11月より委員会を発足し、引き続き2001年度も委員会を開催した。会員からの意見を求めるため中間報告書を作成し、会員へ配布し（2001年5月）、それらの意見をまとめ7月の理事会へ報告した。理事会はこの委員会報告を基に「21世紀の日本社会福祉学会」をめざした組織運営のあり方について総会で報告した。

3. 社会福祉学研究助成振興委員会（2002年1月26日）

科学研究費審査委員候補者および審査について意見を交換した。

4. 日本社会福祉学会50年誌編さん委員会（2001年8月23日、10月5日、12月7日、1月22日、2月22日）

2004年の日本社会福祉学会設立50周年を記念し、これまでの学会の記録をまとめるために委員会を発足した。委員は7人。

5. 大会プログラム委員会およびシンポジウム検討委員会（2000年12月25日、2001年3月17日）

研究担当理事の4人と共に、大会のプログラム委員（1人）およびシンポジウム検討の委員（3人）会を開催した。

VIII. 韓国社会福祉学会との研究交流

韓国社会福祉学会会長および副会長を日本社会福祉学会第49回全国大会にご招待し、日本社会福祉学会との情報交換、大会の視察をいただいた。

また、2001年4月下旬韓国社会福祉学会大会へのご招待をいただいたので、19期岡本民夫会長代行および白澤政和機関誌担当理事が韓国を訪問し、大会の視察、研究発表と情報交換をした。

IX. 会費請求等の業務を実施

1. 会費請求（1回）のほかに、未納の会員には催促した。
2. 住所変更・勤務先手続きの業務をおこなった。
3. 規約にもとづき、会費未納会員について、会費の納入催促および退会者として処理した。
4. その他情報提供など会員サービスをおこなった。

X. 事務局体制の整備

1. 引き続き日本社会事業学校連盟、日本地域福祉学会と共同で事務所を借り、年度途中より社団法人日本社会福祉士養成校協会が加わり（2001年6月）4団体の共同となった。



2. 事務局会議を開催し、必要に応じて関係理事と連絡をとった。

2001年度 日本社会福祉学会 一般会計 決算書 自2001年4月1日 至2002年3月31日

(1) 収入の部

科 目		2001年度 補正予算額	2001年度 決 算 額	備 考
1 会費収入	1 会費収入	25,890,000	27,477,000	2001年度分、過年度分等（新入会員入会費を含む）
2 機関誌売上	2 機関誌売上	1,000,000	915,500	機関誌『社会福祉学』300冊×2500円 他
3 寄付金収入	3 寄付金収入	0	0	
4 補助金収入	4 補助金収入	0	0	
5 助成金収入	5 助成金収入	0	0	
6 雑収入	6 雑収入	55,000	218,628	
	1 寄附金収入	0	0	
	2 現金利息	50,000	3,147	銀行預金利息、郵便貯金利息
	3 その他	50,000	215,481	資料代・出版著作料等 2000年度特別会計へ支出しへの返却5万円
7 繰越金収入	7 繰越金収入	6,601,269	6,601,269	
合 計		33,548,269	35,212,397	

(2) 支出の部

科 目		2001年度 補正予算額	2001年度 決 算 額	備 考
1 事業費	1 事業費	14,960,000	14,175,471	
	1 大会費	3,000,000	3,000,000	学術大会費200万円、日本社会事業大学100万円
	2 機関誌刊行費	6,000,000	5,924,902	機関誌『社会福祉学』42巻1号および 2号刊行費、郵送料、紙料等印刷費等
	3 謝金返元費	2,700,000	2,531,600	7地方社会福祉会
	4 特別委員会費	1,370,000	994,381	ホームページ委員会255,000円、社会福祉学研究会助成 委員委員会371,081円、 21世紀学会の組織・運営のあり方委員会367,320円
	5 特別事業費	0	0	
	6 学会誌・ス刊行費	1,600,000	1,344,528	学会誌・ス刊行費(27号、28号、29号)、郵送料等
	7 運営管理費	0	0	
	8 学術会議研究連絡 委員会活動協力金	290,000	290,000	日本学術会議社会福祉・社会福祉研究連絡委員会 活動協力金29万円、地方学術協会協力金5万円
2 事務費	2 事務費	13,600,000	12,682,341	
	1 会議費	450,000	280,276	理事会開催費等
	2 理事会運営費	1,600,000	1,772,240	理事会費・花巻費等
	3 渉外関係費	400,000	551,370	韓国社会福祉学会交流、韓国学術交流協会10万円等
	4 消耗品費	350,000	132,617	印刷用紙・事務用品費等
	5 印刷費	800,000	656,050	総会資料・返信用紙・封筒等印刷費等
	6 通信費	1,200,000	734,239	郵便料および宅配料等
	7 人件費	4,000,000	4,160,610	事務局職員給与・アルバイト等当分
	8 交通費	200,000	125,440	事務局職員・アルバイト出張交通費等
	9 事務用品費	4,000,000	4,269,459	会員データソフト代、事務用資料・光盤等・電話 コピー・リース料等
3 特別会計繰出金	3 特別会計繰出金	4,000,000	4,000,000	特別会計へ100万円、特別会計へ300万円
4 予備費	4 予備費	986,269	26,000	供花料
5 繰越金	5 繰越金	0	4,329,585	
合 計		33,548,269	35,212,397	

【特別会計Ⅰ 役員選挙事業会計】

2001年度 日本社会福祉学会 運営基金会計 決算書 自2001年4月1日 至2002年3月31日

(1) 収入の部

科 目		2001年度 補正予算額	2001年度 決 算 額	備 考
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	4,631,725	4,631,725	
2 一般会計繰入金	2 一般会計繰入金	1,000,000	1,000,000	
3 CO-ROB売上金収入	3 CO-ROB売上金収入	225,000	22,500	
4 利 子	4 利 子	1,000	546	
合 計		5,857,725	5,654,771	

(2) 支出の部

科 目		2001年度 補正予算額	2001年度 決 算 額	備 考
1 名簿作成費	1 名簿作成費	3,500,000	3,287,445	選挙人名簿作成
	2 選挙用紙送料	1,000,000	1,132,321	選挙用投票用紙送料
	3 CO-ROB作成費	745,500	745,500	
2 予 備 費	2 予 備 費	612,225	115,597	2001年度選挙管理委員会2回
3 繰 越 金	3 繰 越 金	0	373,808	
合 計		5,857,725	5,654,771	

【特別会計Ⅱ 50年史編さん 事業会計】

2001年度 日本社会福祉学会 特別事業会計 決算書 自2001年4月1日 至2002年3月31日

(1) 収入の部

科 目		2001年度 補正予算額	2001年度 決 算 額	備 考
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	4,906,387	4,915,397	
2 一般会計繰入金	2 一般会計繰入金	3,000,000	3,000,000	
3 利 子	3 利 子	100	1,141	
4 雑 収 入	4 雑 収 入	0	0	
合 計		7,906,487	7,917,538	

(2) 支出の部

科 目		2001年度 補正予算額	2001年度 決 算 額	備 考
1 事業費	1 事業費	0	0	
2 会議費	2 会議費	300,000	418,385	会議費、アルバイト代、コピー代等
3 予 備 費	3 予 備 費	7,606,487	0	50年史刊行費
4 繰 越 金	4 繰 越 金	0	7,499,133	
合 計		7,906,487	7,917,528	

【特別会計Ⅲ 補助金会計】

2001年度 日本社会福祉学会 助成金事業会計 決算書 自2001年4月1日 至2002年3月31日

(1) 収入の部

科 目		2001年度 補正予算額	2001年度 決 算 額	備 考
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	102,661	102,661	
2 利 子	2 利 子	0	74	
合 計		102,661	102,685	

(2) 支出の部

科 目		2001年度 補正予算額	2001年度 決 算 額	備 考
1 繰 出 金	1 繰 出 金	0	0	
2 予 備 費	2 予 備 費	102,661	0	
3 繰 越 金	3 繰 越 金	0	102,685	
合 計		102,661	102,685	

日本社会福祉学会 一般会計 貸借対照表

2002年3月31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産	6,270,071	1. 流動負債	1,940,486
現 金	4,069	未 払 金	1,807,486
普通預貯金	5,822,392	前 受 金	133,000
郵便振替貯金	443,620		
立替金	0	2. 固定負債	0
2. 固定資産	2,799,743	3. 運用財産	7,129,328
備 品	1,049,743	運用財産基金	2,799,743
繰越資産	1,750,000	繰 越 金	4,329,585
資 産 合 計	9,069,814	負 債 合 計	9,069,814

日本社会福祉学会 運営基金会計 貸借対照表

2002年3月31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産	373,808	1. 流動負債	0
普通預金	373,808	2. 繰 越 金	373,808
資 産 合 計	373,808	負 債 合 計	373,808

日本社会福祉学会 特別事業会計 貸借対照表

2002年3月31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産	7,499,133	1. 流動負債	0
普通預金	7,499,133	2. 繰 越 金	7,499,133
資 産 合 計	7,499,133	負 債 合 計	7,499,133

日本社会福祉学会 運営基金会計 貸借対照表

2002年3月31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産	102,685	1. 流動負債	0
普通預金	102,685	2. 繰 越 金	102,685
資 産 合 計	102,685	負 債 合 計	102,685

日本社会福祉学会財産目録

2002年3月31日現在

摘 要		(単位:円)	
内	訳	金額	金額
【資産の部】			
I 流動資産			
1. 現金		4,059	4,059
2. 預貯金			
(1) 普通預金			13,798,018
通常貯金 郵便局	N033688971	147,716	
第一勧業銀行・四谷支店 (一般会計)	N01859338	5,674,676	
第一勧業銀行・四谷支店	N01866235	373,808	
(特別会計1 学会運営基金会計)			
第一勧業銀行・四谷支店	N01868254	7,499,133	
(特別会計2 特別事業会計)			
第一勧業銀行・四谷支店	N01869262	102,685	
(特別会計3 助成金事業会計)			
(2) 郵便振替貯金			
東京貯金事務センター (00155-59882)		443,620	443,620
流動資産合計			14,245,697
II 固定資産			
1. 備品			1,049,743
(1) コンピューター (デルバソコン、ノートパソコン 2台)		590,200	
(2) 書庫		459,543	
2. 繰延資産 (コンピューター会員管理システム)		1,750,000	1,750,000
固定資産合計			2,799,743
資産合計			17,045,440
【負債の部】			
I 流動負債			
1. 未払金			1,807,486
(1) 機関誌刊行費		1,419,960	
(2) 事務所費		387,526	
2. 前受金 (2002年度以降会費)		133,000	133,000
流動負債合計			1,940,486
負債合計			1,940,486
差引正味財産合計			15,104,954

監査報告書

1. 監査事項

日本社会福祉学会 2001 年度実施事業ならびに会計収支決算について

2. 監査報告

監査の結果、事業は適正に実施され、また会計収支決算については、収支決算書、貸借対照表および財産目録と諸帳簿、証憑書類を対照検査し、正確に処理されていることを認めます。

2002年5月12日

日本社会福祉学会

監事 右田 紀久恵

監事 三浦 文夫

会計監査の要望事項

2002年5月12日(日)午後4時より、学会事務所において監査会を開催しました。

白澤政和総務担当理事より、事業、会計報告を聴取の上、同日関係書類など 2001 年度事業、監査を行いました。

以下の3点について、検討することを要望いたします。

1) 固定資産の備品については、原価償却を行うこと。

2) コンピュータの会員管理システム等の高価なソフトを資産として所有しており、防犯対策として、損害保険に加入すること。

3) 特別会計Ⅲについては、事業が終了したことに鑑み、残額を一般会計に繰り入れ、特別会計Ⅲを廃止すること。

2002年5月12日

右田 紀久恵

三浦 文夫

第2号議案

2002年度補正予算

2002年度 日本社会福祉学会 一般会計 補正予算書(案)

自 2002年4月1日 至 2003年3月31日

(1) 収入の部

科 目		2002年度 補正予算額	2001年度 当初予算額	備 考
1 会費収入	1 会費収入	28,230,000	27,420,000	2002年度分 3500人×7000円 (新入会員300人分 2,400,000円を含む)
2 機関誌売上	1 機関誌売上	1,000,000	1,000,000	機関誌『社会福祉学』4・3巻(1号および2号)刊行費 合本作製費、郵送料、編集委員会費等
3 寄付金収入	1 寄付金収入	0	0	
4 補助金収入	1 補助金収入	0	0	
5 助成金収入	1 助成金収入	0	0	
6 雑収入	1 雑収入	157,685	55,000	「特別事業会計」助成金事業会計の廃止による繰り入れ
	2 雑収入	102,685	0	銀行預金利息、郵便貯金利息
	3 その他	5,000	5,000	賛助会費、出版著作権料等
7 繰越金収入	1 繰越金収入	4,329,585	885,785	2001年度繰越金
合 計		33,717,270	29,471,785	

(2) 支出の部

科 目		2002年度 補正予算額	2001年度 当初予算額	備 考
1 事業費		16,090,000	14,888,000	
1 大会費	1 大会費	2,000,000	2,000,000	日本社会福祉学会、四天王寺短期大学
2 機関誌刊行費	2 機関誌刊行費	6,700,000	6,500,000	機関誌『社会福祉学』4・3巻(1号および2号)刊行費 合本作製費、郵送料、編集委員会費等
3 助成金元費	3 助成金元費	2,980,000	2,880,000	7 地方部会
4 特別委員会費	4 特別委員会費	1,400,000	1,400,000	ホームページ委員会30万円、JSSS編集委員会 社会福祉学研究会助成金委員会、 社会福祉学推進委員会
5 特別準備費	5 特別準備費	0	0	
6 学会ニュース刊行費	6 学会ニュース刊行費	1,650,000	1,650,000	学会ニュース印刷(30〜32号)、郵送料等
7 選挙管理費	7 選挙管理費	100,000	100,000	日本学術会議会員推薦選挙
8 学術会議研究費補助金	8 学術会議研究費補助金	280,000	280,000	日本学術会議社会福祉、社会福祉研究 推進委員会活動協力金等
2 事務費		13,550,000	12,150,000	
1 食糧費	1 食糧費	450,000	450,000	理事会開催費等
2 選挙関連費	2 選挙関連費	1,900,000	1,500,000	選挙事務費、活動費等
3 印刷費	3 印刷費	600,000	600,000	海外学会研究交流費 機関誌学生交流会助成金
4 消耗品費	4 消耗品費	400,000	400,000	印刷用紙、事務用品費等
5 印刷費	5 印刷費	1,000,000	1,000,000	総会資料、送達用紙、封筒等印刷費等
6 通信費	6 通信費	1,400,000	1,400,000	郵便料、宅配料および通信料等
7 人件費	7 人件費	5,600,000	5,600,000	事務局職員給与、アルバイト手当等
8 交通費	8 交通費	200,000	200,000	事務局職員、アルバイト出張交通費等
9 事務所費	9 事務所費	2,000,000	2,000,000	事務所賃借料、光熱費、コピー機リース料等
3 特別会計繰出金	1 特別会計繰出金	1,500,000	1,000,000	名簿作成(特別会計「運営基金会計」)積立
4 予備費	1 予備費	3,577,270	431,785	
合 計		33,717,270	29,471,785	

【特別会計Ⅰ 役員選挙事業会計】

2002年度日本社会福祉学会 運営基金会計 補正予算書(案)

自 2002年4月1日 至 2003年3月31日

(1) 収入の部

科 目		2002年度 補正予算額	2001年度 当初予算額	備 考
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	373,808	612,225	
2 一般会計繰入金	1 一般会計繰入金	1,500,000	1,000,000	
3 OD-ROM売上金収入		0	225,000	
4 利 子	1 利 子	0	100	
合 計		1,873,808	1,837,325	

(2) 支出の部

科 目		2002年度 補正予算額	2001年度 当初予算額	備 考
1 名簿作成費	1 名簿作成費	0	0	選挙人名簿作成
	2 選挙用紙送料	0	0	選挙用紙集用紙送料補償
3 OD-ROM作成費		0	500,000	
2 予備費	1 予備費	1,873,808	1,337,325	2004年度選挙選挙
合 計		1,873,808	1,837,325	

【特別会計Ⅱ 50年史編さん事業会計】

2002年度日本社会福祉学会 運営基金会計 補正予算書 (案)

自2002年4月1日 至2003年3月31日

(1) 収入の部

科 目		2002年度 補正予算額	2002年度 当初予算額	備 考
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	7,499,133	7,608,487	
2 一般会計繰入金	1 一般会計繰入金	0	0	
3 利 子	1 利 子	0	2,800	
4 雑 収 入	1 雑 収 入	0	0	
合 計		7,499,133	7,608,487	

(2) 支出の部

科 目		2002年度 補正予算額	2002年度 当初予算額	備 考
1 事業費	1 事業費	300,000	0	50年史資料収集経費
2 会議費	1 会議費	450,000	300,000	50年史編さん委員会会議費
3 印刷費	1 印刷費	6,749,133	7,308,487	50年史刊行費
4 繰越金	1 繰越金	0	0	
合 計		7,499,133	7,608,487	

【特別会計Ⅲ 補助金会計】

2002年度日本社会福祉学会 助成金事業会計 補正予算書 (案)

自2002年4月1日 至2003年3月31日

(1) 収入の部

科 目		2002年度 補正予算額	2002年度 当初予算額	備 考
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	102,685	102,685	
2 利 子	1 利 子	0	0	
合 計		102,685	102,685	

(2) 支出の部

科 目		2002年度 補正予算額	2002年度 当初予算額	備 考
1 繰出金	1 繰出金	102,685	0	事業費に充当し、一般会計に繰り入れ
2 予備費	1 予備費	0	102,685	
3 繰越金	1 繰越金	0	0	
合 計		102,685	102,685	

※ 事業の終了により、本特別会計は廃止し、繰金は、一般会計へ繰り入れる。

第3号議案

2003年度 日本社会福祉学会 事業計画 (案)

- 日本社会福祉学会第51回大会は四天王寺国際佛教学大(大阪)で開催し、会員の研究発表の機会の確保と学会の研究水準の向上に資する。日本社会福祉学会第52回大会は学会は学会創設50周年となり、東洋大学(東京)で開催することとし、所要の準備をすすめる。
- 大会における研究水準の向上につとめ、研究発表部会の設定、報告時間、質疑・討議等のあり方等大会運営を検討する。
- 学会機関誌『社会福祉学』を年3回発行し、会員による研究発表の機会の拡大につとめ、学会全体としての研究レベルの向上につとめる。
- 英文誌 JAPANESE JOURNAL OF SOCIAL SERVICES NO.3 を発行する。
- 学会ニュースの充実と定期発行につとめ、会員への情報の周知徹底をはかる。
- 学会の研究水準を高めるため地方部会への助成金の有効活用を促進し、各ブロックによる自主的研究活動の活性化を支援する。
- 『学会設立50周年史』を編纂し、出版の準備をすすめる。
- 社会福祉学の立場から、社会福祉実践や社会福祉政策への倫理的視点、研究上でのプライバシー情報の管理システム等の研究上の倫理を検討するための委員会を設置する。
- 日本学術会議の事業および社会福祉・社会保障研究連絡委員会登録学・協会に対して、世話学会として社会福祉研究推進の立場から協力する。また、その一環として社会福祉学研究助成振興委員会の活動の促進およびソーシャルケアサービス従事者養成・研修研究協議

会の活動を推進する。

- 日本学術会議登録団体および他の関係学会・団体との協力を深め、国内ならびに国際的な視野のもとに、社会福祉学研究水準の向上につとめる。
- 学会の国際的活動として、当面韓国社会福祉学会と。交流をすすめる。相互に学会の情報を提供し合い、研究交流を進める。その一環として、韓国からの社会福祉専攻留学生協議会を支援する。
- 2003年に開催される第17回アジア太平洋社会福祉教育・専門職会議に協力支援する。
- 学会のホームページを活用し、学会の活動を掲載して、会員に情報を提供するとともに、会員等からの情報の場としていく。
- 学会事務の一部委託のあり方について検討する。
- 関係団体との連携を強めつつ、我が国における社会福祉の研究・教育の基盤整備につとめる。
- 学会の財政の健全化と会費の値上げを検討している。

2003年度 日本社会福祉学会 一般会計予算書 (案)

自2003年4月1日 至2004年3月31日

(1) 収入の部

科 目		2003年度 予 算 額	2002年度 補正予算額	比較増減 (△)	備 考
1 会費収入	1 会費収入	29,700,000	28,738,888	1,470,000	2003年度分会費(3900人×7,000円) 《新入会員300人分 2,400,000円を含む》
2 印刷費	1 印刷費	1,000,000	1,000,000	0	機関誌『社会福祉学』売り上げ
3 寄付金収入	1 寄付金収入	0	0	0	
4 補助金収入	1 補助金収入	0	0	0	
5 雑収入	1 雑収入	0	0	0	
6 繰 入 金		55,000	157,685	△ 102,685	
	1 事業費繰入	0	102,685	△ 102,685	
	2 預金利息	5,000	5,000	0	銀行預金利息、郵便貯金利息
	3 そ の 他	50,000	50,000	0	著作権代、出版著作権料等
7 繰越金収入	1 繰越金収入	3,577,270	4,328,585	△ 752,315	
合 計		34,332,270	33,712,278	619,992	

(2) 支出の部

科 目		2003年度	2002年度	比較増減	備 考
		予 算 額	補正予算額	(△)	
1 事業費		18,610,000	15,998,000	3,520,000	
1 大会費		2,000,000	2,000,000	0	0 四天王寺国際佛教学堂、夏江大学
2 機関誌刊行費		10,000,000	5,700,000	3,300,000	機関誌『社会福祉』4・4号1号および2号、3号刊行費 郵送料、編集委員会費、会本部費、英文誌刊行費等
3 基金還元金		3,100,000	2,980,000	120,000	7 地方基金助成金
4 特別委員会費		1,600,000	1,490,000	200,000	ホームページ委員会、英文誌編集委員会、 社会福祉学研究会編集委員会、 社会福祉施設研究委員会
5 特別事業費		0	0	0	
6 学会ニュース刊行費		1,650,000	1,650,000	0	学会ニュース印刷(33号、34号、35号)、郵送費等
7 運営管理費		0	100,000	△ 100,000	
8 学術会議研究連絡 委員会活動協力金		250,000	250,000	0	0 日本学術会議社会福祉・社会福祉研究連絡委員会 0 活動協力金等
2 事務局費		13,900,000	13,558,000	350,000	
1 会 費		500,000	450,000	50,000	0 会費補助費等
2 運営管理費		2,000,000	1,900,000	100,000	0 運営管理・活動費等
3 渉外関係費		800,000	800,000	200,000	0 海外学会交通費等
4 消耗品費		400,000	400,000	0	0 印刷用紙、事務用品費等
5 印刷費		1,000,000	1,000,000	0	0 郵送料、郵込用紙、有価証券印刷費等
6 通信費		1,400,000	1,400,000	0	0 郵便料、電話料およびインターネット等
7 人件費		5,600,000	5,600,000	0	0 事務局職員給与・アルバイト等
8 交通費		200,000	200,000	0	0 事務局職員・アルバイト出張交通費等
9 事務所費		2,000,000	2,000,000	0	0 事務局賃借料、光熱費・コピーリース料等
3 特別会計繰出	特別会計繰出金	1,000,000	1,500,000	△ 500,000	特別会計1(役員選挙会計) 繰立1,000,000円
4 予 備 費	予 備 費	822,270	3,577,270	△ 2,755,000	
合 計		34,332,270	32,717,270	615,000	

(1) 収入の部

(単位:円)

科 目		2003年度	2002年度	比較増減	備 考
		予 算 額	補正予算額	(△)	
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	1,873,808	373,808	1,500,000	
2 一般会計繰入金	1 一般会計繰入金	1,000,000	1,500,000	△ 500,000	
3 利 子	1 利 子	0	0	0	
合 計		2,873,808	1,873,808	1,000,000	

(2) 支出の部

科 目		2003年度	2002年度	比較増減	備 考
		予 算 額	補正予算額	(△)	
1 名簿作成費	1 名簿作成費	0	0	0	
2 選挙用紙送料	2 選挙用紙送料	0	0	0	0 選挙用投票用紙送料補償
2 予 備 費	1 予 備 費	2,873,808	1,873,808	1,000,000	2004年度理事選挙へ
合 計		2,873,808	1,873,808	1,000,000	

【特別会計Ⅱ 50年史編さん事業会計】

2003年度 日本社会福祉学会 特別事業会計 予算書(案)
自 2003年4月1日 至 2004年3月31日

(1) 収入の部

(単位:円)

科 目		2003年度	2002年度	比較増減	備 考
		予 算 額	補正予算額	(△)	
1 前年度繰越金	1 前年度繰越金	6,749,133	7,499,133	△ 750,000	
2 一般会計繰入金	1 一般会計繰入金	0	0	0	
3 利 子	1 利 子	0	0	0	
4 繰 入 入	1 繰 入 入	0	0	0	
合 計		6,749,133	7,499,133	△ 750,000	

(2) 支出の部

科 目		2003年度	2002年度	比較増減	備 考
		予 算 額	補正予算額	(△)	
1 事業費	1 事業費	500,000	300,000	200,000	50年史資料収集経費
2 会 費	1 会 費	500,000	450,000	50,000	50年史編さん委員会会費
3 予 備 費	1 予 備 費	5,749,133	6,749,133	△ 1,000,000	50年史刊行費
合 計		6,749,133	7,499,133	△ 750,000	

【特別会計Ⅰ 役員選挙事業会計】

2003年度 日本社会福祉学会 運営基金会計 予算書(案)
自 2003年4月1日 至 2004年3月31日

第4号議案

社会福祉に関する研究交流の推進に関する覚書

2002年10月27日

日本社会福祉学会会長 大 橋 謙 策

韓国社会福祉学会会長 Sung-Jae Choi

日本社会福祉学会と韓国社会福祉学会は社会福祉に関する研究交流の推進を図るため、以下の点について合意する。

1. 共同研究の推進

- (1) 社会福祉に関する研究交流を深めるため、両学会は、共同研究の企画について協議する場を設ける。
- (2) 両学会は、それぞれに担当者を定め、担当者の意見交換を踏まえて共同研究企画の具体案をまとめ、それぞれの学会理事会に提案し、合意を得て企画の具体化を図るものとする。

2. 学術研究大会への代表者の招待

- (1) 日本社会福祉学会は、毎年開催される日本社会福祉学会大会に韓国社会福祉学会から推薦された代表2名を招聘し、韓国社会福祉学会は、毎年開催される韓国社会福祉学会春季学術大会に日本社会福祉学会から推薦された代表2名を招聘する。
- (2) 招聘する側の学会は、代表者が大会において研究報告を行う機会を得られるよう、適切な企画を組むことに努める。
- (3) 代表者の旅費(出発地から大会開催地までの交通は招聘を受ける側が負担し、大会前泊を含む全宿泊や現地交通費等の全ての滞在費用は招聘する側の学会が負担する。
- (4) 通訳が必要な場合は招聘する側の学会が準備することとする。

とを原則とする。

3. 本覚書の期限および改廃

- (1) 本覚書の有効期限は、調印の日から3年間とする。ただし、両学会の合意により期限を延長することができる。
- (2) 両学会のいずれかが本覚書の改正または廃棄が必要であると判断したときは、両学会の協議にもとづいて改正または廃棄することができる。

付記: 担当事務局および連絡先

- (1) 本覚書に関する日本社会福祉学会の事務を担当する事務局の連絡先は以下のとおりである。
〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館501
Tel. 81-3-3356-7824
Fax. 81-3-3358-2204
Eメールアドレス: jsssw@jt2.so-net.ne.jp
- (2) 本覚書に関する韓国社会福祉学会の事務を担当する事務局の連絡先は役員の任期に合わせ一年ごとに定める。

第5号議案

地方部会の活性化と地方部会担当理事選挙

第6号議案

日本社会福祉学会創設50周年記念事業
「日本社会福祉学会賞創設企画委員会」の設置について(案)
企画委員会を設置し、『日本社会福祉学会賞表彰規程』の原案作成
52回大会での表彰に向けて、企画委員会で準備する。

第17回アジア太平洋社会福祉教育・専門職会議の御案内

「平和と公正とソーシャルワーカー—21世紀におけるアジア太平洋のソーシャルワークの展望—」をテーマに、7月7日(月)～7月12日(土)、長崎県佐世保市の長崎国際大学とハウステンボスを会場にして、日本で初めて上記の国際会議が開催されます。

公用語は英語及び日本語(総会及び分科会では同時通訳あり)です。

すでに発表申込(口頭、ポスター)が締め切れ、国内外から約300の発表申込がありました。現在、査読委員会において採否を審査中です。

この会議では600名の参加登録申込を見込んでいますが、まだ国内からの参加申し込みが少ない状況です。参加費用は締切日に応じて違ってきますので、できるだけ早めに登録申込をして下さい。

- ・一般申込 (4月末日までの申込) ¥35,000
- ・ (5月1日以降の申込) ¥40,000
- ・学生 (申込時期に拘わらず) ¥10,000
- ・同伴者 (申込時期に拘わらず) ¥20,000

この参加費には、歓迎レセプション費、さよならパーティ費、昼食(3食)、コンgresスキッズ等の費用が含まれております。ただし、公式ディナーは別途有料となっております。なお、会議場に予定されているハウステンボス内では、各種宿泊施設が特別料金で利用できます。宿泊に関しては、西鉄旅行社へ

(<http://www.ntc.nnr.co.jp/17apswc/index.html>)

また、この会議の詳細に関しては、

E-mail: 17apswc@issnet.co.jp

ホームページ <http://www.17apswc.jp> をご利用下さい。

韓国社会福祉学会の御案内

昨秋の全国大会において、韓国社会福祉学会との学術交流協定を締結しました。これによる2003年度韓国社会福祉学会春季学術大会の案内が届きました。以下の日程で開催されますので、多数の会員のご参加をお願いします。

なお、学術交流プログラムでの発表のために、日本社会福祉学会代表者2名を派遣することになっております。

◆2003年度 韓国社会福祉学会春季学術大会

2003年5月3—4日(金、土)

場所: 全北大学校(全州市)

◆日韓シンポジウム

テーマ: 日韓両国における福祉主体の役割と課題

発表者1: 社会福祉における中央政府と地方政府の役割変化

発表者2: 公共部門と民間部門の協力体系

※日韓両国発表者2人が上記のテーマについて自国の現状を中心に発表します。

※発表は自国語で進行(約20分)、発表後通訳を入れ、フロアの質問やコメントを受けながら進行します。

中部部会2002年秋の例会を下記の内容で開催し、約50人が参加して活発な議論が行われた。

日時: 2002年11月30日(土) 13:00～17:00

開催場所: 中京大学八事校舎

共通テーマ「ソーシャルワーカーの固有性とは何か
: ソーシャルワーカーのアイデンティティと教育」
内容:

- (1) 基調講演: 川田誉音(日本福祉大学)
「ソーシャルワークの固有性とは何か: 英国の動向から考える」
- (2) シンポジウム「ソーシャルワークの固有性とは何か: ソーシャルワーカーのアイデンティティと教育」

〈シンポジスト〉

穴戸明美(中部学院大学)
川島貴美江(静岡県立大学短大部)
柴田謙治(金城学院大学)
安井理夫(同朋大学)

〈コーディネーター〉

高森敬久(金城学院大学)
小松理佐子(中部学院大学)

(金城学院大学 杉本貴代栄)

査読委員の皆様ありがとうございました。

近年の学会機関誌『社会福祉学』は、年3号発行体制への移行、紙面の刷新、査読制度の充実とそのプロセスの明確化、英文サマリーの校閲制度など、数々の改革に取り組んでまいりました。中でも査読制度については、投稿者数の増大と分野の多様性に応えるべく、2000年1月から一挙に74名の多数の査読委員にお願いしました。また、この他臨時の委員にも査読をお願いしています。

おかげで、投稿者からは大変好評です。2002年12月で任期が満了しましたが、査読委員の皆様には、お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

なお、引き続き査読委員として多くの会員のご協力が必要です。なるべく負担を公平にしながら、より質の高い紙面を作っていきたいと思っておりますので、今後も一層のご協力をお願い申し上げます。

機関誌 『社会福祉学』 査読委員

(任期：2000年1月より2002年12月まで)

浅井春夫	河東田博	高橋信行	牧里毎治
浅野仁	門田光司	高橋紘士	牧野忠康
足利義弘	川廷宗之	高山直樹	牧野恵美子
秋元美世	菊池義昭	瀧口桂子	松井二郎
秋山二史	鬼崎信好	立岡哲雄	松井亮輔
安立清	北川清一	津崎葉子	松岡克尚
阿部武博	北島英治	土屋のり子	松崎泰子
網野忠江	北野誠一	筒井陸久	松永宏雄
安藤勅子	木下康仁	手島本三郎	松原康伊智朗
安梅雅子	久保美紀	枋村和真	松本美予子
池田久展	久保博二	中川健太郎	三毛美紀
石川到覚	黒木田研子	中谷陽明	森田明望
石川邦雄	桑原桂子	中野いく子	森田佳美
市川一宏	児玉加保	西尾祐司	森本文治
伊藤淑子	小林良二	根口定久	山縣英三郎
茨木尚子	古谷野亘	野橋本正	山田明
宇都栄子	小西郷泰隆	萩原清子	湯澤直美
遠藤興智子	小坂田周	萩原香代子	要田洋江
大滝敦史	佐藤久夫	狭林千代	和気純子
岡田進一	佐藤豊道	原田正樹	渡部(グリーン)
岡田徹卓	澤田信子	春見静子	渡辺裕美
岡部英夫	三本松政	久岡公良	
小國正司	芝野松次郎	平塚隆一	
奥山新	社本修	平野俊一	
尾崎温	(2000年逝去)	平笛木和	
小澤朗	庄司洋子	福山女	
柏原峰	杉岡あけみ	藤村之	
加瀬裕子	高田真治	古瀬徹	

日本社会福祉学会2002年度 第2回、第3回、第4回理事会

- ・ 第2回日時 2002年10月25日（金） 15時より
会場 ホテルメトロポリタン
- ・ 第3回日時 2002年10月26日（土） 12時より
- ・ 第4回日時 2002年10月27日（日） 12時より
会場 日本社会事業大学
- ・ 出席者 別紙

第2回理事会 10月25日

第1号議案 第50回(2002年)大会（日本社会事業大学）について

事前申込みも多く、当日参加と合わせるとかなりの数になる見込み。

第2号議案 第51回（2003年）大会（四天王寺国際佛教大学）について

- ・ 日程を2日にするか、3日にするか。
- ・ 「3日」開催はプログラムはゆっくりするが、開催校が、ボランティアの確保、財政的にも1日ふえるとかかるのではないか。
- ・ 学会企画シンポのテーマは「社会保障」は沖縄に続き2年目で終わり、「ソーシャルワーク」は3年おこなうので、51回大会で終わる。
- ・ 日程は3日めを午前中で終わる形にしてはどうか。

第3号議案 第52回（2004年）大会（東洋大学）について

- ・ 学会創立50周年の記念行事を、初日午後行い、これを含め3日間の日程で大会を開催する。

第4号議案 社会福祉に関する研究交流の推進に関する覚書

- ・ 韓国社会福祉学会との研究交流の推進に関する覚書を、大会2日目の10月27日（日）14時から「日本社会福祉学会・韓国社会福祉学会学術交流シンポジウム」の席上で調印する。

第5号議案 査読委員の委嘱（2003年1月から2005年12月の任期）等

- ・ 査読委員選出基準マトリクス（専門領域、性別）等を作り「基準作り」が必要ではないか。
- ・ 査読結果へ承服できない場合の「苦情申立窓口」の設置を検討。
- ・ 130名に依頼

第6号議案 入会審査について

- ・ 入会の承認 77名

第7号議案 学会賞創設について

- ・ 他の学会も種々の「賞」を設置している。50周年を記念し、「賞」を設定したい。
- ・ 検討委員会委員長に宮田副会長、委員に白澤、大友、井岡、上野谷理事。

第8号議案 地方部会の活性化と地方部会担当理事の選挙

- ・ 長野県が中部部会と関東部会、福井県が中部部会と関西部会の間で所属変更の希望が一部出ているが、1県全体が所属部会を変更しては、部会活動に影響があるので、従来どおり、「原則、所属部会は勤務地。ただし、希望すれば、現住所での所属ができる」こととしたい。

第9号議案 学会創設50周年企画について

- ・ 第3号議案で説明があった50周年企画について、宮田副会長を委員長に、白澤、大友理事で検討いただく。

第10号議案 総会の運営について

- ・ 総会議長 日本社会事業大学 高橋重宏会員
四天王寺国際佛教大学 鈴木壽恵会員
- ・ 花束贈呈 一番ヶ瀬 康子名誉会員
←岩田正美会員
柏 木 昭 名誉会員
←福山和女会員
- ・ 次期開催校挨拶 鈴木壽恵会員

第11号議案 その他

- 1 倫理綱領問題……ソーシャルワーカー関係3団体でオーソライズしていく予定。それ以前に、各学会に意見求められる。12月初めまでに秋山委員会に付託したい。

第3回理事会 10月26日（土）

報告事項① 名誉会員大会参加状況

報告事項② 「社会福祉実践と倫理委員会」「社会福祉学研究と倫理委員会」「英文誌編集委員会」について

報告事項③ 「科研費」および「COE」の申請について

報告事項④ 『日本社会福祉学会50年史』（仮称）について

報告事項⑤ 機関誌『社会福祉学』執筆要項の変更について

報告事項⑥ 「日本学術会議会会員候補予定者および推薦者」選挙について

第4回理事会 10月27日（日）

第1号議案 入会審査について

- 入会の承認 4名

2002 年度 第 2 回・3 回・4 回 理事会 出席表

氏 名	25 日	26 日	27 日
会 長 大橋 謙策	○	○	○
副 会 長 宮田 和明	○	○	○
特別委員会担当理事 (機関誌担当理事兼任)	○	○	○
秋山 智久	○	○	○
総務担当理事 白澤 政和	○	○	○
庶務担当理事 大友 信勝	○	○	○
渉外担当理事 黒木 保博	○	○	○
渉外担当理事 牧里 毎治	○	○	○
研究担当理事 井岡 勉	○	○	○
研究担当理事 鬼崎 信好	○	○	○
研究担当理事 山崎美貴子	○	○	○
研究担当理事 阿部 實	○	○	○
機関誌担当理事 岩田 正美	欠	○	○
機関誌担当理事 米本 秀仁	欠	○	○
北海道担当理事 松井 二郎	○	○	○
東北担当理事 高澤 武司	欠	欠	欠
関東担当理事 福山 和女	○	○	○
中部担当理事 中田 照子	○	○	○
関西担当理事 上野谷加代子	○	○	○
中四国担当理事 中嶋 和夫	○	○	○
九州担当理事 硯川 眞旬	○	○	○
監 事 右田紀久恵	○	○	○
監 事 三浦 文夫	○	○	○

▼オブザーバー

大澤 隆 (高澤武司東北担当理事代理)
中垣 昌美 (四天王寺国際佛敎大学) (25 日)
鈴木 壽恵 (四天王寺国際佛敎大学) (25 日)

▼事務局 小林 萬里子

新 入 会 員 (81 名)

2002 年度第 2 回・4 回理事会承認

青木 淳英 日本福祉大学大学院
赤井 朱美 神戸大学大学院
赤司 秀明 日本学際会議
浅野 琢哉 (株)日経広告
安達 笙子 鹿児島国際大学
阿部 正昭 和泉福祉専門学校
荒井 慶子 旭川荘厚生専門学校
蘭 由岐子 賢明女子学院短期大学
安藤 寛美 中部学院大学大学院
石井 勲 大谷女子大学
石光 和雅 静岡済生会総合病院
泉 洋一 佛敎大学
板井 正斉 皇學館大学
伊藤 佳代子 福岡県立大学大学院
井上 泰夫 同志社大学大学院
岩崎 夏奈 (社福) 名張育成会

岩瀬 通江
上田 任克
Md. Abu Bakar siddique
大川 健次郎
大西 敏浩
大橋 修
大平 民生
岡田 洋一
呉 世榮
小野寺 浩三
嚴 基福
加藤 直樹
加山 弾
川野 祐二
姜 恩和
橋内 真里子
木下 りつ子
工藤 歩
江田 久美子
斉藤 景子
齋藤 貞夫
酒井 亮介
坂本 毅啓
坂本 忠次
櫻井 淳司
式 恵美子
島 京子
嶋守 さやか
清水 浩昭
慎 斗範
末廣 貴生子
鈴木 さとみ
妹尾 栄一
高阪 悌雄
高城 大
高橋 一弘
高倍 史
武田 盛夫
谷口 互
谷村 紀彰
田畑 擁子
徳山 磨貴
中庭 光彦
中村 秀一
中村 将洋
南條 正人
難波 利光
信田 光子
花房 由望
朴 元熙
平野 幸子
広田 ともよ
黄 京性
福永 良逸
堀口 大輔
前橋 信和
松尾 智子
南 多恵子
森 源三郎
藪長 千乃
山崎 ハコネ
山西 辰雄
尹 錦姫
尹 文九
李 蓉馥

中部学院大学大学院
大阪市立大学大学院
北海道大学大学院
高崎健康福祉大学
四天王寺国際仏敎大学
福岡県久留米児童相談所
同愛会小澤病院
熊本社会福祉専門学校
淑徳大学大学院
東北福祉大学
東洋大学大学院
立命館大学
関西学院大学大学院
科学技術振興財団
東京都立大学
福岡学院短期大学
熊本県知事部局
日本福祉大学大学院
福岡県立大学大学院
中部学院大学大学院
全国社会福祉協議会
(社福) 三篠会
近畿大学豊岡短期大学
関西福祉大学
(社福) 新生会
国際医療福祉大学
久留米大学
東海女子大学
日本大学
四天王寺国際仏敎大学
大川看護福祉専門学校
同志社大学
東京都精神医学総合研究所
松山東雲女子大学
関西福祉科学大学大学院
聖徳大学
兵庫県津名郡五色町健康福祉総合センター
四天王寺国際仏敎大学
日本福祉大学
鹿児島国際大学大学院
鹿児島国際大学大学院
関西学院大学大学院
中央大学研究開発機構
鹿児島国際大学大学院
盛岡社会福祉専門学校
仙台大学大学院
岡山大学大学院
四天王寺国際仏敎大学
淑徳大学
檀國大學校
明治学院大学
広島修道大学
東京大学大学院
鹿児島国際大学大学院
北里大学大学院
大阪府中央子ども家庭センター
九州大谷短期大学
立命館大学大学院
長野大学
早稲田大学
高齢者グループホームからし種の家
身体障害者療護施設るりこう園
靈山圓佛敎大校
東京福祉大学
韓国淑明女子大校

他学会の大会予定

日本社会福祉学会

- 第51回日本社会福祉学会全国大会
2003年10月11日(土)、12日(日)、13日(月)
四天王寺国際佛教大学

社会事業史学会

- 社会事業史学会第5回全国大会
2003年5月10日(土)、11日(月)
大坂府立大学

日本医療社会福祉学会

- 日本医療社会福祉学会第14回大会
2003年9月27日(土)、28日(日)
同志社大学

日本介護福祉学会

- 第11回日本介護福祉学会大会
2003年9月20日(土)、21日(日)
金城大学

日本児童学会

- 平成15年度日本児童学会理事会・総会
2003年7月12日(土)
鎌倉女子大学大船新キャンパス

日本社会医学会

- 第44回日本社会医学会
2003年7月26日(土)、27日(日)
同志社大学今出川キャンパス

日本社会福祉実践理論学会

- 日本社会福祉実践理論学会第20回大会
2003年6月21日(土)、22日(日)
大正大学

日本社会分析学会

- 第105回日本社会分析学会例会
2003年7月中旬予定
香蘭女子短期大学(福岡市)

日本職業リハビリテーション学会

- 第31回日本職業リハビリテーション学会大会
2003年8月7日(木)、8日(金)
東京学芸大学

日本地域福祉学会

- 日本地域福祉学会第17回大会
2003年6月6日(金)、7日(土)
高知女子大学

日本難病看護学会

- 第8回日本難病看護学会学術集会
2003年7月31日(木)、8月1日(金)
江戸川区総合区民ホール

日本年金学会

- 第23回日本年金学会総会・研究発表
2003年10月30日(木)、31日(金)
生命保険協会講堂

日本福祉教育・ボランティア学習学会

- 日本福祉教育・ボランティア学習学会
2003年11月29日(土)、30日(日)
富山県社会福祉協議会

日本仏教社会福祉学会

- 日本仏教社会福祉学会第38回大会
2003年10月18日(土)、19日(日)
身延山大学

日本保健医療社会学会

- 第29回日本保健医療社会学会大会
2003年5月17日(土)、18日(日)
龍谷大学大宮学舎

日本保健福祉学会

- 第16回日本保健福祉学会学術集会
2003年12月6日(土)、7日(日)
東京(未定)

日本老年社会科学会

- 第45回日本老年社会科学会大会
2003年6月18日(水)、19日(木)、20日(金)
名古屋国際会議場

日本社会事業学校連盟

日本社会福祉士養成校協会

- 第33回社会福祉教育セミナー
2003年9月20日(土)、21日(日)
新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ(予定)

日本社会福祉士養成校協会

- 第2回社会福祉士養成教育のあり方と国家試験
2003年4月12日(土)
東京(予定)

事務局連絡

▼学会ニュース31号でもお知らせしましたが、講座『戦後社会福祉の総括と21世紀への展望』全4巻(各巻3,500円)を一括購入の場合、2割引、送料660円計11860円で頒布しています。お申し込みは、Fax、メール、はがきで事務局まで。

▼英文誌の投稿論文を募集していますが、共同執筆者も含め会員でなくてはなりません。また、全員年会費を納めていなければなりません。

▼学会のメールアドレスが変更になりました。詳しくは奥付をご覧ください。

編集後記

日本社会福祉学会第50回記念全国大会が成功のうちに終わりました。第50回記念全国大会事務局、関係者の方々のご労苦に謝意を表します。会員の皆様に2002年度総会議案書を改めてご一読お願い致したいと思います。本学会の発展をはかるには機関誌『社会福祉学』の年3回発行、英文誌の充実、地方部会の活動助成、国際的活動、特別研究委員会助成等の諸課題を達成していかなければなりません。2002年度総会において、庶務担当理事から問題提起したように会費値上げがさけられない状況になってきております。会員の皆様方のご意見をいただき次期大会までに検討を重ねます。(大友信勝 記)

発行人 大橋 謙策

編集人 白澤 政和

発行日 2003年2月25日

発行 日本社会福祉学会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8

森山ビル西館501

TEL. 03-3356-7824 FAX. 03-3358-2204

Email jsssw@jt2.so-net.ne.jp

URL http://www.soc.nii.ac.jp/jssw/

(2月末現在会員数 4,440人)

学会ニュース 32号